

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022 年 1 月 1 日に WA 競技規則 TR 5 の改正と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは、「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは 1 次招集時に行う。)

○靴底の厚さに関する規定(TR5. 13. 3) 表

種目	靴底最大の厚さ (TR5. 5TR5. 13. 3)	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm)
道路競技 (競走、競歩)	40 mm	

※本記録会は、フィールド競技シューズ規則 (上記) の適用を除外する。

2. 競技場への入場について

- (1) 競技者等の最初の入場は 1F 正面入口のみとする。その際、「部員登録証」を提示すること。
再入場・退場はマラソンゲートを使用すること。

3. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方 (東側) の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する。
- (2) 競技会開始前のトラックを利用しての練習は、競技開始の 30 分前までとする。
ただし、300m・300mH の準備作業を行うため、その間は作業の邪魔にならないよう、気を付けること。
(ホームストレート・バックストレート) (ジョグはレーン外)
・2~5 レーン=コーナーからのスプリント練習 ・6~9 レーン=直線からのからのスプリント練習
※順番待ち等は密を避けるように距離を保つこと。
- (3) 競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。
- (4) ハードル種目の練習は、競技開始前にハードル設置後に行うこと。
- (5) 競技場内はメディスンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4. 招集について

- (1) 招集開始・完了時刻は次の通りとする。

招集時刻	トラック種目	跳躍種目	投てき種目	棒高跳び
一次招集開始	60 分前	90 分前	90 分前	120 分前
一次招集終了	30 分前	60 分前	60 分前	90 分前
二次招集開始	15 分前	50 分前	50 分前	70 分前
二次招集完了	10 分前	40 分前	40 分前	60 分前

- (2) 招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。スマートウォッチ等も通信機能を停止しておくこと。
- (3) 1次、2次招集に遅れた競技者は出場する意思がないものとみなし欠場として処理する。但し、多種目を同時に兼ねて出場する場合は、代理人を認める。（「多種目同時出場届」は提出しなくてよい。）
- (4) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出する。
- (5) リレーのオーダー用紙は、第1組の一次招集完了時刻の60分前までに競技者係へ提出のこと。また、顧問のサインを必要とするが、今回は代筆を認める。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目の800m、1500m、3000m、4×400mRのみ、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) 100m以外はすべてタイムレースとする。
- (3) フィールド種目はトップ8を行う。
- (4) 各種目において申込が3校以下であった場合、該当種目は対抗得点からはずす。
- (5) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。
男子 145 cm練習 150 cmより 190 cmまでは5 cm 以後3 cmずつ上げる
女子 115 cm練習 120 cmより 145 cmまでは5 cm 以後3 cmずつ上げる
- (6) 棒高跳の練習・競技開始の高さは当日現地で決定する。
- (7) 走幅跳は1組（メインスタンド前トラック側）、2組（メインスタンド側）で行う。
走高跳は第一曲走路内側、棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

6. 競技用具について

やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりは競技場備え付けのものを準備するが検査を受けて自己の物を使用しても良い。検査は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

7. 式典および表彰について

各種目・各学年6位入賞者に表彰状を授与する。表彰係まで取りに来ること。
今年は閉会式を行わず、表彰式を行う。総合・男子・女子の1～6位の学校は参加すること。
得点は1位8点・・・8位1点とする。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは配布しないので、各校で印刷すること。
- (3) 競技中に起こった怪我等は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (4) 記録は電光掲示板およびWEBページで確認すること。（記録ボードは設置しない。）
- (5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (8) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部3・4地区WEBサイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。